

## 米軍オスプレイの墜落について

令和5年11月29日付広資料第140号、同月30日付広資料第141号、142号、143号、同年12月1日付広資料第148号、同月4日付広資料第152号、同月6日付広資料第153号及び同月7日付広資料154号お知らせしたこのことについて、防衛省北関東防衛局から、下記のとおり情報提供がありましたので、お知らせします。

### 記

#### ○ 情報提供内容（1）

岩国基地に所属不明のオスプレイ2機が駐機している旨の報道があったため、中国四国防衛局が米海兵隊岩国航空基地に問い合わせたところ、以下の情報を得ましたのでお知らせします。

「現在、岩国飛行場には2機のCV-22が来ています。」

#### ○ 情報提供内容（2）

米空軍は、日本時間7日9時、

- ・ 調査が継続している中、リスクを軽減するため、米空軍CV-22オスプレイの運用停止（operational standdown）を指示した、旨発表しました。
- ・ また、米海軍及び海兵隊は、米空軍の決定を受けて、すべてのオスプレイの運用停止措置（grounding bulletin）を導入しているところである、旨発表しました。

- ・ 米軍機の運用にあたっては、飛行の安全を確保することが最優先です。現在、詳細を確認中であり、米軍と緊密に連携して対応してまいります。

○ 情報提供内容（3）

今般の鹿児島県の屋久島沖における米軍オスプレイの事故について、日本時間本日（7日）9時台、米空軍が、調査が継続している中、リスクを軽減するためCV-22オスプレイの運用停止を指示した旨、また、米海軍と海兵隊も、米空軍の決定を受けて、すべてのオスプレイの運用停止措置を導入している旨発表いたしましたのでお知らせします。

現在、詳細は米側に確認中ですが、政府としては、事故発生直後から、米側に対し、国内に配備されたオスプレイについて、飛行にかかる安全が確認されてから、飛行を行うよう正式に要請しております。

オスプレイについては、自衛隊も運用しているところであり、飛行の安全確保を最優先として、引き続き、米側に情報共有を求めてまいります。